

国産原材料の需要拡大及び輸出促進による 需要創出に向けたキックオフ大会



日時: 令和3年8月18日(水曜日)14時～16時 (13時20分受付開始)

方法: オンライン(Microsoft Teams)

共催: 金沢国税局、関東信越国税局、北陸地方整備局、
関東経済産業局、中部経済産業局、近畿経済産業局
(順不同)

**参加費
無料!**
事前申込制
先着順

【お申込み方法】

- ◆ 参加をご希望の方は、以下の北陸農政局のホームページ又は右側のQRコードから事前にお申し込みください。
後日、メールにて、Microsoft Teamsでの視聴方法等のご案内をお送りします。
<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/keiei/210730.html>
- ◆ **お申込み期間:** 7月30日(金)～8月13日(金)12時まで
- ◆ オンラインシステムの都合により参加申込者が多数の場合は、申込締切前であっても参加申込みを締め切らせていただきます。



参加申込みQRコード

【お問合せ先】

農林水産省 北陸農政局 経営・事業支援部 輸出促進課 (キックオフ大会事務局)
電話: 076-232-4233 / メール: hokuriku_yusyutsu@maff.go.jp

プログラム、事例発表者のご紹介

- 開会
- 宮内秀樹農林水産副大臣からのビデオメッセージ

国産原材料の需要拡大及び輸出に積極的に取り組む事業者からの事例発表

■ 味噌・醤油／株式会社ヤマト醤油味噌 代表取締役社長 山本 晴一 氏 『YAMATOブランドを世界の食卓へ』

「醤油のふるさと」、金沢市大野町で1911年に創業、今年で110周年を迎える。初代が金沢と北海道を商船で行き来し、二代目が醤油の醸造を、三代目が味噌の醸造を始め、当代となる四代目が、味噌・醤油をベースにめんつゆやドレッシング等の製造を開始。2012年に食品安全管理の国際規格である「FSSC22000」を取得。美味しさ、品質、安全・安心においても世界最高の調味料を製造し、大野発のYAMATOブランドを世界の食卓へ発信、日本の発酵食文化を伝えている。

■ コメ／みな穂農業協同組合 代表理事組合長 細田 勝二 氏 『JA主導による輸出用米の生産の紹介』

JAみな穂は、平成18年3月、JA入善町とJAあさひ野の合併により誕生。管内の主な水稻生産品種は、コシヒカリ、てんたかく、てんこもり、ミルキークイーン。今から10年以上前、管内にバックご飯工場が建設されたことや日本産米の海外需要の高まりに着目し、米の輸出取組を開始。また、用途別の農業者手取りが同水準となるよう、輸出用米・米粉用米・備蓄米の共同計算による、米の生産調整に取り組んでいる。日本国内の米の需要は減少する一方であり、米生産を続けるためには、海外の需要を取り込むしか方法がないとの思いから、輸出用米の生産に取り組んでいる。

■ コメ・大豆加工品／株式会社マイセンファインフード 代表取締役社長 村井 龍昭 氏 『グローバルフードカンパニーへの転換』

安全で安心できる食べ物を通じて世界の人々に健康と豊かさを提供するとのミッションの下、農産物の加工、食品製造・販売事業を展開。世界の食市場のキーワードが「健康」に変化する中、同社は、国産原材料を用いた玄米パンや、玄米と大豆を原料にした肉代替製品を開発・販売、世界で受け入れられている。2019年、同社は亀田製菓グループ入りを果たし、今後、更なる事業展開が期待される。

■ 地域商社／株式会社横山商会 取締役 事業統括 源 英登 氏 『北陸に根ざした地域商社としての機能を発揮する取組』

北陸最古の日立特約店として設備機器の販売、施工、メンテナンス事業からはじまり、今では電子デバイスの販売や制御ICチップの開発、設計、製造、アンテナショップ事業支援まで幅広く手がける。また、顧客のニーズを踏まえ、商品の輸出入支援の他、海外でのマーケティングや販路拡大等、多角的にサポートを実施。100年に渡り蓄積した知識・経験・ネットワークを駆使した輸出商社機能をフル活用し、地域商社として北陸産の農林水産物・食品を含めた幅広い商品の輸出に取り組む。

■ 日本酒／合資会社加藤吉平商店 十一代目 当主 代表 加藤 団秀 氏 『完全無添加の純米酒「梵」を世界各国に輸出する取組』

それまで両替商・庄屋であった先祖が、万延元年(1860)に日本酒造りを開始して以来、契約栽培の確かな原料米と自社酵母と地下184mの伏流水を使って、お客様に喜ばれる日本酒造りに拘り続けている。銘柄「梵」は20数年前から完全無添加の純米酒のみを製造していて、海外進出は「国際酒祭り」1998年(平成10年カナダ・トロント開催)における、第1位グランプリ受賞からスタート。今では世界中の各国政府や在外公館(日本国大使館・領事館)が主催する晩餐会において、数多く採用される公式酒に選定されている。1998年の初グランプリ受賞以来、世界的酒類品評会において数多くの最高賞を受賞し続けていて、世界酒蔵ランキング2020においては、対象入賞蔵659酒蔵のうち、北陸唯一の5ツ星酒蔵(トップテン酒蔵)に輝いている。加藤吉平商店は令和元年12月に、世界100ヶ国以上に日本酒を輸出する、日本初の酒蔵になるなど、日本酒に賭ける熱い情熱を胸に、更なる海外事業の発展が期待される。

- 意見交換・総括
- 閉会